

●高田泰治郎 今年もいろいろありました。

(有) タカダ都市設計 府中市武蔵台

今年もくれ様としていますが、いろいろありました。私が知る限りでまとめてみました。

●最初にゴルフ

○第45回東建北部ゴルフ大会平成26年4月3日(木) 鳩山カントリークラブ

優勝: 神山 孝昭(北部支部正会員 慶成建築事務所)、準優勝: 石橋 勉(北部支部正会員 (有)イトム建築工房)、3位: 土屋 茂

○第6ブロック会員交流ゴルフ大会主催平成26年4月24日(木) 鳩山カントリークラブ

優勝: 落合 茂(賛助会員)、準優勝: 永井 幸雄(北部支部正会員)、3位: 西川 幸男(賛助会員(有)西川建装) 団体優勝: 八王子支部

○本部会員交流ゴルフ大会平成26年9月25日(木) 千代田カントリークラブ

団体優勝: 八王子支部、準優勝渋谷支部、北部支部は4位

○第6ブロック会員交流ゴルフ大会主催西多摩ブロック平成26年10月24日(木) 鳩山カントリークラブ

優勝: 西川 幸男(賛助会員(有)西川建装)、準優勝: 佐々木 章(八王子支部)、3位: 辺見 和明(賛助会員)

団体優勝: 北部支部

○第46回東建北部ゴルフ大会平成26年12月4日(木) 石坂ゴルフクラブ

優勝: 見田(賛助会員(有)大建)、準優勝: 西川 幸男(賛助会員(有)西川建装)、3位: 鹿島 孝夫(南部支部)

●ボーリング大会

第3回第6ブロックボウリング大会平成26年2月22日土曜日 立川スターレーン

団体優勝: 北部支部、準優勝: 八王子支部 ベストスコアー 345 鈴木俊夫(賛助会員 (有)興友サービス)

●研修旅行報告(支部長: 川田 伸紘)

本年度は八ヶ岳、上諏訪、松本方面に研修旅行を行うことになりました。メインは八ヶ岳高原音楽堂です。

「この建物は吉村順三の設計による木造の音楽堂で、小規模ながらその音響の良さ、建物の美しさで特に知られています。」

八ヶ岳高原音楽堂は八ヶ岳の高級別荘地の一角に建つ八ヶ岳高原ロッジというホテルが運営する音楽堂です。音楽の演奏もあれば結婚式などにも使われています。全体は木造+RCの混構造ですが、小屋組は木造、屋根は銅板葺きです。建物全体の構成は大小の変形正六角形状平面の音楽堂と附属施設がやや離れて宝形屋根で形成され、エントランスホールとホワイエでこれらを結んでいます。宝形小屋組みの頂部にはそれぞれシンボリックなトップライトが設けられています。(先ほどのアプローチからの眺めですと、音楽堂部分の尖塔状モチーフと附属棟のそれとはパースペクティブのためか、同じほどのボリュームに感じます。心なしか何か物足りなさとも言うべきものを感じました。) 柔和なホワイエの雰囲気を楽しみながら、間もなく音楽堂内に入りました。内観はあくまでも軽快にして簡明で、素朴な木の肌合いと温もりを以て人々を迎えます。見上げるとあのシンボリックなトップライト。細めの丸太柱などに支えられ、周囲を取り巻く水平天井。折上げられた小屋組みからの荷重は、こうした構成の構造で推力を外周部のRC構造に伝えていると感じさせられます。八ヶ岳高原音楽堂を後にして上諏訪に向かい、その日はそこに投宿。皆さんお疲れ様でした。

その翌日、今年も翌日はゴルフを楽しむグループと観光のグループに分かれ、それぞれの行動となりました。ゴルフの方々は午後に襲来した強い雷雨に遭遇して散々な思いをされたそうです。観光組の4名は同じ大型バスで松本まで送ってもらい、市内の名勝を見学して回りました。

●川田 伸紘 今年もいろいろありました。(写真集)

(株) K 設計工房 武蔵野市吉祥寺東町

観光組のわれわれにも訪れた夕刻の雷鳴交じりの驟雨を何とかかわして、一路上諏訪までゴルフ組の方々を迎えに、またバスにしばし揺られることとして松本を後にしました。こうして今年の研修旅行も無事に幕を閉じました。天候にはそういう次第でやや恵まれませんでした、とても楽しい旅行でした。

●建築フェアを見る会

9月29日新宿「ふれあいフェアを見る会」新宿「東天紅」にて6時から食事会、老酒と中華料理を堪能しました。



東京都東村山市秋津町3-50-3
042(393)1177

生コン販売・ALC(ケレン)・耐火被覆他

日興産業株式会社

TEL 042-342-0044 FAX 345-9576

自動ドア・ステンレス建具



西東京支店

〒186-0003 国立市富士見台2-31-1
TEL: 042-575-1725

http://www.nabcosystem.co.jp

2011年4月1日 株式会社LIXILが新たに動き出します。



トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXIL(リクシル)としてお客さまの多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

株式会社LIXIL 東京西支店

東京都昭島市田中町610-3

ヘーベル・ベースバック・アスロック・イーゼット・フレームキット 販売施工 名取屋興産株式会社 TEL 042 (341) 8811 FAX 042 (345) 1002	耐震診断現場調査(コア採取試験)・赤外線調査・超音波測定等コンクリート建造物の総合診断会社  三協 株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井 2-12-10 TEL :03-3298-2081 FAX :03-3298-2080 http://www.sankyo-net.co.jp
--	--

● 関 理一郎

「仏像拝観」

(有)関建築研究所 小平市鈴木町

仏像に興味をもって2、3年になります。雑誌やテレビでその興味を満足させてきました。いずれ実際にこの目で拝観したいものだと思っていました。幸い今回その機会に恵まれて、京都に行ってみようと思ってきました。仏像に関心のある人なら誰でもご存知の仏閣 2 箇所です。三十三間堂の千手千眼観世音菩薩と東寺の立体曼荼羅です。まずは三十三間堂です。駐車場には観光バスが連なっていて、おびただしい観光客に少々鼻白みました。本堂脇の入り口から内陣へ歩を進めました。薄暗い堂内に入ると柱が列をなして並んでいました。その柱間の数が三十三あるので、三十三間堂と名付けられたようです。実に細長い堂内です。その中央に大きな千手観音座像が安置されています。その左右に各五百体、計一千体の観音様がずらっと立ち並んでいる

のです。金色に輝く壮麗一千体。周囲の観光客の存在すら忘れて、私は見入ってしまいました。当時の仏師たちが、これほどの量を造営したそのエネルギーに感嘆しました。たくさんの仏を供養するほど、それだけご利益があるという数供養信仰のあらわれではないでしょうか。とにかく圧倒されて三十三間堂を後にしました。次に東寺です。東寺は南大門、金堂、講堂と一直線に伽藍配置された天平時代の本格的な寺院で、五重塔も人気のひとつです。そのうちの講堂に私が目指す立体曼荼羅が安置されています。曼荼羅とは仏教界の地図です。皆さんも平面的に描かれた曼荼羅図は見たことがあると思います。空海はその曼荼羅を分かりやすく、立体的に構成して、私たちの前に整然と仏像群を配置したのです。講堂内に足を踏み入れたとたん、あまりの仏像の多さに唖然とさせられました。まず中央に宇宙の中心大日如来、その東側に五菩薩、西側に五不動明王、そしてそれら仏の左右に梵天と帝釈天、その周りに四方を守護する四天王と、その数実に二十一体です。まさに衆生の民を苦悩から救済してくださる二十一体です。



これらを前にして、私は思わず合掌せざるを得ませんでした。ご利益を願うというのではなく、これだけの仏像を造りあげた当時の仏師への尊敬と感服です。

● 会員移動

退会	旭一級建築士事務所	小平市仲町 182-3	
電話番号変更	アーキデザインスタジオプラス一級建築士事務所	042-455-5775	042-449-1175 (FAX)
担当者変更	株式会社 LIXIL	旧担当：吉田豊彦	新担当：駒谷健治
住所変更	別所浩司建築設計事務所	中野区本町 2-13-6 コートシルバーストーン 407	

● 支部スケジュール		● 支部関連イベント	
12月	第17回耐震委員会(12/3) 第46回北部支部会員交流ゴルフ大会(12/4) 第4回防災まちづくり設計事務所研修会(12/8) 第18回耐震委員会、第8回支部役員会、支部忘年会(12/17)	12月	第5回武蔵野市住宅対策課との連絡会(12/5) 賛助会忘年会(12/8)
1月	年始回り(1/5) 第19回耐震委員会(1/7) 第9回支部役員会、支部新年会(1/21)	1月	新会員交流会・懇親会(1/13) 新春交礼会(1/15)、第6ブロック第5回会議(1/23)
2月	第21回耐震委員会(2/4) 第10回支部役員会(2/18) 平成26年度北部支部耐震実務者講習会(未定)	2月	第6回武蔵野市住宅対策課との連絡会(2/6) 支部長会議(2/27) 第3回武蔵野市分譲マンション管理無料相談会(2/28)
3月	第23回耐震委員会(3/4) 第11回支部役員会(3/18) 北部支部交流ゴルフ大会(未定)	3月	第6ブロック第4回ボーリング大会(3/28)

季刊 広報 ほくぶ クリスマス号

第10号 (12月24日発行)

発行：(社)東京都建築士事務所協会 北部支部
住所：〒188-0011 西東京市田無本町 4-9-1 測量センター内
メールアドレス：info@taaf-hokubu.jp.org



● 石橋 勉

外断熱のこと

(有)イトム建築工房 小平市大沼町

寒さも本格的になり、断熱性能の良い住まいの大切さが身にしみる季節です。外断熱住宅の設計・施工をしている者として、感じたこと記述させていただきます。

住宅を造る際に、間取りやデザインは施主の最も関心の高いことのひとつですが、快適な住まいを造ることもそれと並んで大切なことです。寒ければ暖房器具を使い、暑ければ冷房器具を使えば良いと思われがちですが、「建物全体の断熱性・気密性を上げ隙間風の入らない、そして暖房器具やエアコンの使用量を抑えた家が良いですね」と、施主に話します。

家を造る際に断熱の方法として、内断熱と外断熱に大きく分けられます。従来の内断熱は柱や間柱の間にグラスウールやロックウールなどを入れて(詰め込む)います。いわゆる充填工法です。断熱材は柱・梁の間に入れるので、柱・梁など外部に面する構造材は断熱していない状態(断熱欠損)になります。その場合断熱性能を上げようとすると、充填する断熱材の厚みが増すので壁中空間はパンパンの状態です。構造材や下地材の通気の確保や、電気配線コンセント・補強金物類との取りあいは良い状態とは言えません。他に断熱をしていない構造材が熱橋となり見えない部分での内部結露も心配の種です。防湿層をつくれれば結露が防げるといわれても、現場ではそう簡単に出来ることでは無いのです。

それに対して外断熱は壁と屋根の外側に板状断熱材を張り断熱をします。外張り断熱とも言われています。断熱材を構造材や下地材に遮られることなく、連続して張ることが出来ます。(外側からすっぽり包み込むような)このことにより、家全体の断熱性能を上げ家の中の温度差を少なくすることが出来ます。

併せて気密性能も上げることが容易です。但し、断熱材の継ぎ目には気密性のあるテープや充填剤により補完することが必要です。気密性をよくすると、当然隙間が少ないわけで外からの音や、ホコリなども入りづらくなります。とかく断熱は壁を先に考えがちですが、外張り断熱では屋根断熱を壁と同じように考えて施工出来ます。

屋根からの熱をどこで遮るかが問題です。屋根下地合板の外側に断熱材を張りそこで断熱出来れば、内部空間に熱が入りにくいです。内断熱の場合は天井面の裏側に断熱材を載せることにより断熱をしています。言い替えば、小屋裏は断熱していない、イコール夏は暑い空気が充満して冬は冷気でシンシンとしているわけです。当然その熱は薄い天井材の隙間から部屋内に降りてきます。小屋裏収納を造った時などは、外断熱と内断熱の性能の違いがはっきりわかります。

断熱材を外側に張ることにより、充填工法で断熱材が入っていた部分が空洞になるため、壁中空間の活用や、木材が空気に触れること(密閉しない)により木材本来の吸湿や放湿の機能も活かすことが出来ます。ただ、外断熱をするときの注意点も当然でできます。たとえば、構造体の外側で断熱するのでその分、外側に建物の厚さが増えます。これが、屋根・壁・基礎に出ています。それと、壁のトータルの厚みが増えるので開口部では下地材や造作枠材など広いものが必要になります。

外壁に断熱材を留めるのでしっかりした下地材と長いビスが欠かせません。断熱は一部でも不十分などところがあると、全体の性能に影響するのでしっかりとした施工技術と管理も必須でしょう。ある程度コストはかかっていますが、それを考えても外断熱は選択肢に加えるべき断熱方法であると思います。



 児玉コンクリート工業株式会社 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-9-9 http://www.kodama-conc.jp		アルミニウム製建具、鋼製建具 YKK AP株式会社 東京ビル建材統括支店立川支店 〒190-0012 東京都立川市曙町 1-27-10 読売立川ビル6F TEL : 042-521-1020
---	---	--